

はびねすフラワーの栽培方法

1. 種まき(播種)

①平箱やセルトレイに「種まき専用培土」を敷き詰め、平らにならします。セルトレイを使うと、移植時に根を傷めず、活着がよくなります。

【平箱の場合】

用土にすじ(溝)をつけ、それに沿って重なり合わないよう種を落とし、覆土します。

【セルトレイの場合】

1穴に1粒ずつ種を丁寧に播き品種の発芽特性にあわせ覆土します。ペゴニアやペチュニアなど非常に小さい種は紙と竹くし等を使い、セルに種を転がしながら落としていくとよいでしょう。

品目によって発芽適温が違います。また、光を好む種子、好まない種子がありますので花の種類を確認しましょう。

② 種まき後は、発芽するまでは風通しの良いなるべく涼しいところで管理しましょう。土の表面が薄茶色になっていたら土が乾いているサインです。水やりは種が流れないように底面給水させたり、目の細かいジョウロを使用しましょう。非常に小さい種でしたら霧吹き等を使用するとよいでしょう。



2. 苗の植え替え(移植)

①用土を準備して、あらかじめポットに土を詰めます。土が乾いていれば、植え込み(鉢上げ)前日までに水をたっぷり与えておきます。ポットを上から軽く落とし土の量が約8分目までになるようにするとよいでしょう。

②育苗箱から苗を取り出し、ポットに一つひとつ植え込みます。苗は根鉢を崩さない

ように抜き取りましょう。ポットの中央の土に指で穴を開け、差し込むような感じでやさしく植えつけます。株元がぐらつかないように軽くおさえて固定した後、たっぷりと水を与えておきます。植え付けはポットの土の表面と苗の土の表面が同じくらいになるようにします。



③植え込み後は土の表面が乾いたらたっぷりと水を与えます。植えた苗とポットの土がなじむように、水をやさしく与えます。植え込み後1週間程度は、植え傷みを和らげるため、一日中日差しが当たる場所は避けてください。

3. 定植

①用土を準備して、プランターに土を詰めます。排水性を高めるために、プランターの底にスノコやパーライトなどを敷くとよいでしょう。プランター容器の4割程度まで土を入れ、平らになるようにならしておきます。土が乾いているようでしたら、水を与えて湿らせておきましょう。

②ポットから苗を取り、プランターに苗をバランスよく植えます。ポット苗の土の表面がプランターの鉢口の上から2~3cm程度低くなるように高さを調節しながら、苗の株元の周りに土を入れます。最後に軽くおさえて固定します。植え付けが終わったらたっぷりと水を与えます。



4. 管理

①置き場所

酷暑対策として建物の東側など西日が当たらない、出来るだけ涼しい場所で管理します。特に真夏は直射日光が当たらないように注意しましょう。

②水やり

土の表面が乾いたら、プランターの底からしみだすまで水をたっぷり与えます。真夏などは日中の水やりは避け、午前中に与えるようにしましょう。

③肥料

液肥などの肥料は定植後、2~3週間程度空けてから、与えるようにします。株の根元に向かってゆっくり与えるようにしましょう。

④手入れ

花を長期間咲かせるために咲き終わった花を摘み取りましょう。萎んだ花は残しておくことで種子が作られるために養分がとられたり、病気のもとになったりします。

⑤切戻し

草丈が伸び続けると、花が咲きにくくなったり、草姿が乱れ、見栄えが悪くなったりします。そこで好みの高さで、葉や芽を残すよう切戻しを行います。また夏場の高温多湿に耐えられるように風通しを良くする意味でも重要な作業になります。

